

若年性認知症と共に歩む

我が国は高齢化が進み、高齢者の約4人に1人が認知症、又はその予備軍となっています。その中でも65歳未満で発症した場合を若年性認知症と言います。

今回、若年性認知症患者の支援をしている方や認知症当事者の方をお迎えし、実践のご報告や専門職・地域の支援者へ求めること、地域づくりについて、ご講演とシンポジウムを行います。

講習会を通して、暮らす皆が地域の一員として何が出来るのかを一緒に考える時間にしたいと思います。皆様ふるってご参加ください。

日時

平成30年 2月18日(日)

13時30分～16時(13時開場)

ビッグアイ7階 市民交流プラザ大会議室

(郡山市駅前二丁目11-1 Tel.024-922-5544)

参加無料

講演会

第1部

「認知症になっても自己決定出来る
地域(支援)づくり」

講師：若生 栄子 氏

- ・公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部 副代表
- ・若年認知症のつどい「翼」世話人
- ・認知症ケア専門士 ・若年性認知症当事者の活動パートナー

シンポジウム

「それぞれの立場から地域づくりを考える」

【シンポジスト】

- 鈴木 理 氏(若年性認知症当事者)
(社会福祉法人みずほ 特別養護老人ホームうらやす)
- 三浦 好美 氏(活動パートナー)
(社会福祉法人みずほ 特別養護老人ホームうらやす)
- 佐藤 靖子 氏(認知症看護認定看護師)
(星総合病院 若年性認知症コーディネーター)
- 未 定 (福島県で活動している方)

【コメンテーター】

- 若生 栄子 氏

【座長】

- 塚原 秀一 氏(医療ソーシャルワーカー)
(竹田総合病院 ・ 福島県医療ソーシャルワーカー協会 副会長)

※本研修は、「認定医療社会福祉士」のポイント換算の登録申請をしております。

主催 福島県医療ソーシャルワーカー協会

事務局：福島県いわき市内郷高坂町四方木田155 榎葉ときわ苑内 Tel.0246-27-1117

<http://www.fukushima-msw.com/>

医療ソーシャルワーカーとは、保健医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。具体的には、経済的問題の解決調整援助、療養中の心理的・社会的問題の解決調整援助、受診・受療援助、退院(社会復帰)援助などを、患者さんの主体性やプライバシーの尊重を重視しつつ行っています。